

弓道なごの

第68号

発行：長野県弓道連盟
会長 外蘭公毅
〒399-4117
駒ヶ根市赤穂10214-4
TEL0265(83)5206
編集：県弓連
印刷：株成進社

巻頭言

平成最後の新年にあたって

長野県弓道連盟会長 外蘭 公毅



明けましておめでとうございます。平成も残り少なくなりました。五月から新しい元号になるのを契機に今年こそはと決意を新たにされておられることと思います。ご健勝で躍進の年になりますようお祈り申し上げます。

今回の原稿はこのことを書こうと思っていました。十一月二十五日国体成年の一次選考会が行われて、私も選考の責任者として出席しました。その参加者名簿を見てちょっと(?)アタマにきて急遽原稿内容を変えることにしました。

私が会長になって、願っていることは、長野県弓道を強くしたいの一点だけ。それも正道でなければなりません。それには若い会員を増やし、そして指導育成することです。育成には時間がかかります。誰かが声を発しなければなりません。私の代にはおそらく間に合いませんが、十年二十年後に期待したいと思います。高校生弓士の残存率が非常に低いことへの対応についても

機関誌『月刊弓道』十月、十一月号に「伝統のなかの能と弓道」と題して、能楽師の観世喜正氏と岡崎廣志範士の対談が掲載されていました。岡崎先生ならではの語りということもあり、大変興味深く読ませていただきました。皆さんも読んでいただきこれからの弓道

文書で各役員、各支部にお願いしました。ご理解ご協力していただき早速動いていただいた支部もあります。しかし長野県は広く、各地区で温度差があります。

国体の予選会は平成の初め頃までは北、東、中、南信の四地区で予選会をして、各地区に割り当てられた人数を選考して行きました。そして各地区の予選通過者で四月か五月に県の一次選考会をやっていました。女子はその頃から希望者全員でした。私が強化部員になった平成五年には各地区での予選会はなく希望者全員で四月に一次選考会を行っていました。百名近い希望者がいたように思います。今年の一次予選申込者は男子二十七名、女子十四名でした。年々減少しているのは時代の流れで仕方ないとしても、ある地区の参加者の少なさにいささか怒りを覚えました。日頃から若手を育てようという気運のなさに拳を握りしめていたからです。支部対抗射会の際に国体、全日本遠征・近的大会出場者の壮行会も同時に行います。壮行会に招待されている人を支部対抗の選手にしていけない支部が見受けられました。何故か聞いてみると、支部の予選会に参加しなかったからだということです。その時その地区の誰かに「若手を育てようという気

がないのか。国体、全日本の選手を外すほど余裕があるのか」と吠えた覚えがあります。(すみません八つ当たりして)。各支部いろいろな考え、事情もあるうかと思いますが高齢化と共に会員数が減少していることに危機感を少しでも持つてほしいです。自分のことで精いっぱい高校生や若い人の面倒なんか見ておられない、煩わしい、マナーが悪いという方もおられます。「最近の若い者は」は古代エジプトから言われていた言葉だそうです。自分が若かったころを思い出してみよう。自分の流儀だけを押し付けずに、寛大な気持ちで長い目で見ていただきたい。次第に大人になればいいのです。弓を媒体にして何かを悟ろうとする努力の過程が「道」であり、それには死ぬまで続けてこそ「道」の意味があると何かの本で見ました。共に悟りの道が少しでも開かれるように修練しましょう。





まさかの合格

諏訪支部 教士六段 志村 仁

さる十一月五日、中央道場で行われた定期中央審査で教士審査に合格する事が出来ました。この合格は外蘭会長をはじめ、強化部の先生方、トップセミナーでご指導頂いた先生方、競い合い、共に高め合ってくれている強敵(悪友)、多くの先生方のお陰であり、自分の力ではありません。とても感謝しております。



今年二月、名古屋審査では一次審査に合格出来ましたが、二次の一次的射礼で失敗し不合格に終わりました。しかし、それなりの収穫が得られました。この経験を活かして、全日本選手権に向けて練習を重ねた後に受審する十一月東京審査での合格を目標に立てました。目標どおりといえばそうなのですが、春からの不調を考えると、まさか

まさかの合格だったように思えます。四月、国体二次選考会の矢渡を4射3中(二次選考会は中南信、東北信で別々に行われる)で終えたところまでは、それなりの射が出来ていたのですが、四月後半から突然、弓の引き方(中り方)を忘れてしまったのです。その不調はとても長く続き、五月から七月中旬までは全くダメでした。七月末の北信越錬成大会は気迫のみで全日本への切符をもぎ取りましたが、無理が祟って肩を痛めてしまいました。しかし練習を止める訳にはいきません。どんどん悪化し、日常生活でも腕を上げるのが痛くて辛い状態でした。(今年で四十歳なので四十肩?)全日本選手権は気休めに頭痛薬を飲み、ここでも気迫のみで乗り切った感じですが、怪我を治すために練習を一か月休んでいたので、練習不足の状態で審査を迎えました。

事前準備が出来ていない上に、当日にもアクシデントが。土日を家族と過ごす事を優先に考え、当日月曜朝の車移動を選択していたのですが、首都高速の渋滞に巻き込まれたのです。明治

神宮に着いたのは八時半過ぎ。受付してから駐車場を探し、道場に戻ったのが十時前。会社から仕事メールが届き、電話とタブレットで仕事を済ませて、十時半頃の第三控えにどうにか滑り込みました。控えて着付けを直し、素引きを一回して入場ですが、こんな状態ではまともに引ける訳がありません。今出来る精一杯の射をしようと開き直りました。



「どうやらその開き直りが功を奏したようです。甲矢の大三をとった瞬間」これはイケる!!」と感じられ、そのままの流れで良い射が出たようです。面接を担当して頂いた川村光良範士、久保田清範士から「良い射だったよ」と褒めて頂きました。この一年間の苦労が報われた瞬間でした。二次審査は自信を取り戻し、落ち着いて射礼を行う事が出来たように思います。良い所に二本束り無事に合格する事が出来ました。審査に合格して教士六段になったのですが、まだまだ勉強不足ですし、実力不足でもあります。謙虚な気持ちを忘れずに「我以外皆師」の心持ちでこれからも勉強していきたいと思えますので、ご指導ご鞭撻のほどを宜しくお願い致します。





この先、また一歩ずつ

松本支部 教士六段 小越 剛

私は新潟の高校の部活で弓を始めました。切掛けは弓道ならスタートが全員一緒だし、何となく武道に憧れたからです。顧問の先生もおられました、弓の指導は近所では日本茶の製造・卸を営む範士八段五十嵐四郎先生に二任されておりました。弓について全く白紙の状態に入部した私たちは、現役バリバリの範士の射をほぼ毎日、当たり前のように見ていました。先生は「実直」が背筋に通っているような人で、高校生でさえ射にもそれが滲み出ているように見えませんでした。今から思い返すと、何と恵まれた環境で弓を始められたのかと思います。このとき、弓は一生続けたいと思いました。実際には学生、仕事、家庭の事情で弓から離れていた時期もありましたが、今も一生続けたい気持ちには変わりありません。



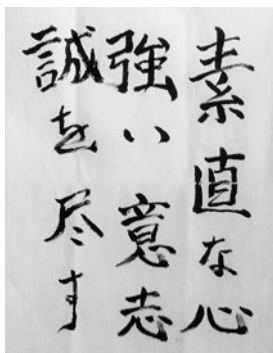
現在、私は百瀬正先生に師事しています。師範の葬道場には心得(素直な心・強い意志・誠を尽す)が掲示されていますが、私は弓でも人生を歩む上でも最も大切な三つを示してもらっていると思います。師範の赦しをいただき、ここにシェアさせていただきます。

素直に耳を傾けたり、謝ったりすることが年齢に比例して出来るようになったらとても素敵だなと思います。私の意思はあまり強くなく、誠を尽す前に出来ない不安で萎えてしまいがちです。先ずは「狙っても出来なかったこと」を「諦めない」ところから徐々に誠を尽す段階に近づいていけたらいいと思います。

結果が出た後に尤もらしく理屈を付けて審査を振り返るは少しやらしい感じがしますが、お赦しください。審査前にもらった左記のアドバイスを失敗の不安が湧き出して来ても諦めず貫こうとしたことが良い結果に結びついたように思えます。

- ① 的を捨てること
 - ② 自分で自分を審査しないこと
- 審査は一本外せば大概通らないので、的中は必要ですが、それにしがみつくのと肉体より大き

く空間に描く射にならないような気がします。偉そうに言ってしまうんですが、私には的を心から捨てる段階はまだまだ遠いです。代わりに心的に掛からないように会で狙いを定めた後は「何も変えない」を離れるまでずっと心の中で繰り返し、魔が差し込みそうになる隙を懸命に埋めていました。



しい射の修練が始まるのだと思います。この言葉を胸に刻んで、教士に相応しい体配、射法、弓具を育てる知識、道場内外の態度などを身に付けるべく修練を積んでいきます。お気づきの点は、教えていただけると助かります。

二次の乙矢ではふと動作を間違えてしまいましたが、何も無かったようにポーカークフェイスで射礼を続けました。その時、自分で自分にNGを出して集中を切らしていたら、暗く情けない思いにまた苦しむことになったでしょう。

この東京を振り返って気が付いたのですが、諦めない理由は大事かも知れません。これまでは「あの人に越されたくない」とか、「昨日調子が良かったから今日は行けるかも!」とか気負い、射を崩してばかりいました。小さな我の為でなく、大きな他の為なら肚が決まって粘れるのだと知りました。

教士を拜受することになりますが、浦上博士範士の著書「型の完成にむかつて」に戒めの言葉があります。「審査に合格したとしても、その時の射が続けられるかどうか問われるべきでしょう。合格したからその段相当の射が出来るようになったと思うのは間違いで、合格して初めてその段にふさわ

最後になりましたが、お世話になっている先生方、弓士の皆様に感謝を申し上げます。百瀬正先生をはじめ葬道場の先生方、松本弓道会の先生方、中信地区の先生方、県連の先生方、多くのことを示して導いていただき、ただ感謝あるのみです。弓に真摯に取り組み互友と一緒に稽古できる時間は本当に幸せです。同じ道を歩む弓士は心の支えでもあり、とても大切な存在です。皆様、ありがとうございます。

これからの地道に一歩ずつ歩いていけたらと思いますので、どうかよろしくお願い致します。



平成三十年 教士研修会

上伊那支部 教士七段 北原 修

今夏の過去最高気温を記録した酷暑からお稽古には最適の季節のはずの「神無月」ですが、朝から今シーズン一番の冷え込みとなった十三日(土)翌十四日(日)見出しの研修会が松本市弓道場に於いて、講師に範士八段杉田博先生をお迎えし開催されました。

研修会ですから県内の多くの先生方が参加されるものと思いきや、八名、二日目が十一名。参加者の年齢構成も、五十代二名、六十代四名、七十代三名、八十代二名と高齢化社会を代表する年齢構成でした。(今後の県連状況を考えますと四・五十代の先生方はお仕事でも重責で大変な立場にあると思いきや、時間がたつていけば今後修練の指針になると確信致します)

初日の研修会は、矢渡、持的射礼(原則、物見返し、取懸け)を受講生が行い、詳細なご説明、ご指導を杉田範士から頂きました。

六十代以上の受講生は錬士審査の二



次審査時に原則の間合いで持的座射礼(昭和六十年頃迄)が行われておりましたが、経験済みですが久しぶりの原則の間合いは大変でした。しかし、八十代の先輩方がしっかりとした座射をされておられました。

射礼は、気力の充実。気合い。息合。小さな動作にも残身が必要。相互の間合い。入退場での目使い。歩き方。歩行中の回り方等体配が重要であるこ

と。基本体を中心に途中で修正、反復繰返してのご指導をいただき、矢数は八射でしたが夕方の終了時には太腿、膨ら脛等下半身の痛みが増しました若いのかと勘違いするほどでした。

宿泊は美ヶ原温泉「丸中旅館」到着後、昼間の筋肉疲労を癒した後、杉田先生に御足労いただき懇親会が行われ、弓道談義に花が咲き、昔話で大いに盛り上がり、楽しく充実した時間となりました。夜は七名が同室で昼間の疲れからか蛙の大合唱となり翌朝は寝不足の方もおられたようです。

二日目の研修は、射手、介添共に女性受講生による優雅で流れの美しい矢渡から始まり、一ツ的射礼のご指導を以下のようにいただきました。①動作がこなれていない。ぎこちなさが残る②知識として知っているではなく、自然に流れるように③指導者は出来ないといけない。範示する出来ることが重要。

今後の課題として、①体配を確実に正しく行うお稽古②周りから耳の痛い忠告に対しても広い心を持って向かうことが大切③一射毎に考え丁寧にお稽古する。

研修会終了時には、教士は自分の射を築く事。指導者として自覚を持ち、後輩の指導を行い育ていく事が重要である。との講評をいただきました。



また、中央研修会に参加された宮坂受講生から報告をいただき一層有意義な研修会となりました。中央研修会の県内伝達講習会は今後開催されると思っています。皆さま積極的にご参加、受講して下さい。

今回の教士研修会は今回の倍以上の受講者数となることを切望致します。最後に、ご指導いただきました杉田先生。研修会でお世話いただきました高木受講生及び地元の皆様さま。道場をお借りいたしました松本支部の皆様さま方に御礼申し上げます。

平成三十年度弓道セミナーに参加して

大北支部 四段 傳刀 恵美

四季折々の木々に囲まれた下諏訪道場にて九月二十二、二十三日と弓道セミナーが開催されました。

講師を務める宮坂博之先生、藤澤敏子先生、中村美穂先生のもと、県下参段から錬士六段の先生まで四十五名が受講しました。

開始早々、宮坂先生より講習会に臨む姿勢や礼について説明があり、礼記射義や射法訓の唱和は稽古に向かう上で誓いのような意味合いを持ち、日常生活において少なくとも道場ではそういう覚悟と態度が必要という言葉に、「日頃の自分はどうだろうか」と振り返る機会にもなりました。

矢渡は両日とも射手・介添ともに受講生が行い、講評と講習がありました。



介添は矢渡の前から射手に意を注ぎ黒子に徹すること、射手の息合に合わせて動くなどの心構えから所作について細かく講義がありました。その後肌脱ぎ・襷裁きについて演習が続き、午後より受講生の一手行射後、先生方よりそれぞれ一人毎に講評を頂きました。指摘された中で多かったのが、手の内の崩れや妻手に力が入りすぎる例、大三で妻手が引きすぎていたり、三重十文字の崩れなどでした。

夜の懇親会の席ではあちこちで弓談議に華が咲き、大先輩の方々から沢山のヒントや助言を頂き楽しく有意義な時間を過ごしました。宮坂先生とお話する機会もあり、全日本選手権の決勝を見学した時の事とその感想として、「心身ともに一分の隙もなく尚且つ、常に自然体であることが大事だと感じました」と話す先生は、「自然体であるにはどうしたら良いか。それは自分というものを捨てれば良いんだよ」と教えてくださいました。とても奥深い禅問答のような貴重なお話が拝聴できるのもセミナーの醍醐味だと感じました。

二日目の矢渡後、宮坂先生による射法八節の運行に沿って実技を交えた細かな説明がありました。その中で徒手での稽古について触れられ、弓の張力の影響がない中で正しい動きができないと弓を持つても正しく引けないと教えて下さいました。その他印象に残った事として、「弓手の手の内など射の運行の中には握るといふ動作はないという事」、「五重十文字のうち四つは大三で完成し、会にて〈首筋と矢〉が加わり五重十文字になること」などがありました。

その後受講生である錬士の先生方による一つの射礼と研修があり、最後に仕上げ行射となりました。

宮坂先生は最後の講評の中で、中から良いのではない、それでよしとしないことが大事とおっしゃっていました。いつも謙虚に真摯に弓に向き合うこと、自己を知り自分と向き合うことが大事だと思いました。

また本座に立った時の心持を「あきらめる(明)(諦)」と表現するというお話がありました。「物事をあきらかにすること」諦観という言葉もありますが「物事の本質をしっかりと見極め明らかにし超然とした態度で臨むこと」。いかこの境地で本座に立てるよう日々精進したいと思えます。

講師の先生方、諸先輩方、二日間本当にありがとうございました。

謹賀新年

遠的ダンボール白黒 (79cm・100cm)
遠的ダンボールカラー (100cm)
遠的紙カラー貼り合わせ (100cm)

〒380-0935
長野市中御所1-12-5
TEL ▶ 026-228-3443
FAX ▶ 026-223-4855
通常 ▶ 8:00~18:00
日・祝 ▶ 8:00~17:00
定休日 ▶ 月曜日

全日本弓道具協会会員



有限会社 中島弓具店

URL ▶ <http://www.nakajima-kyugu.com>

E-mail ▶ info@nakajima-kyugu.com

第七十三回 福井しあわせ元気国体 報告

強化部少年男子監督 伊藤 公二



第七十三回 福井しあわせ元気国体は、九月三十日から十月三日まで福井県敦賀市で行われました。今年北信越国体を突破した成年男子・成年女子・少年男子の3種別で出場して参りました。大会は出発前から心配していた台風チャームの影響により、大会会場の閉鎖・一部施設の撤収をせざるを得ない状況となり、会期が二日短縮され、少年については一日で遠的・近的を各

自四つ矢の一発勝負、成年についても遠的各自四つ矢の一発、そして近的は各自四つ矢後に決勝トーナメントで決する事となりました。

結果については先に強化部長から報告があったように、遠的競技では3種別が優勝・近的競技では成年女子は3位入賞という成績でした。その結果、皇后杯4位・天皇杯2位にも入賞する事が出来ました。県弓連会員のみなさんからの温かいお心遣い、御声援により勝ち得た結果だと思えます。本当にありがとうございました。

さてここからは、私が少年男子の監督という事もありますので、少年男子について書きたいと思えます。国体選手選考は例年通り一月末から二週にわたり県内4地区での選考会からスタートし、二次選考会、最終選考会を経て蟹澤・籠田・松木の三名が代表選手となりました。北信越国体では遠的・近的ともに1位で通過、本国体へ進み遠的優勝!と、華々しい結果ではありますが、この結果は三選手の努力がとて大きく起因しています。過去三回の



監督経験では、最終選考後から徐々に射の精度を上げ本番に臨んでいきましたが、今年の三人は上手であるが故に壁におつかる事もあり、北信越国体通過後に遠的矢を替える・遠的の引き方を変えなど選手との対話の中で、壁を越える策を講じてきました。

台風で中止になった二日間は、越前市弓道場・鯖江市弓道場をお借りしての稽古でした。各弓道場では他県の選手もいましたので、どうしても点数・的中が気になりましたが幸い私自身視力が低く見ても矢所は見えないので、選手の射の変化・動きだけに集中することが出来ました。選手も遠的で高得点が出て12射皆中してはしゃ

ぐ事もなく、「三射目、〇〇な感じだったんですけれど」や「会に納まる時に違和感がありました」など、(少しは喜べよ!)と思う気持ちもありましたが、自分の射とよく向き合い有意義な二日間でした。そんな練習があったからの遠的優勝だったと思います。近的で優勝出来なかったのは、遠的優勝で喜んでる選手を見てホッとしてしまった自分に責任があります。『勝って兜の緒を締めよ』あの時の自分に必要だった言葉だと思えます。文面がまとまりきらず申し訳ありませんが、自分の反省も含め報告とさせて頂きました。ありがとうございました。



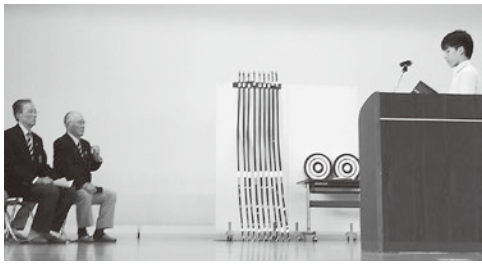
全日本弓道連盟 中学校弓道普及振興事業

弓具贈呈式

飯伊支部 木村 由紀子

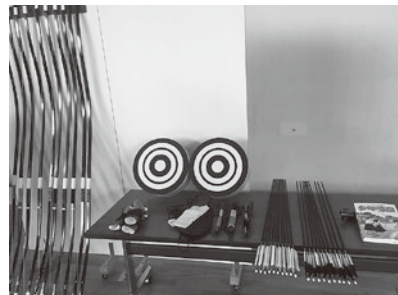
夏の酷暑が続く昨年九月七日、全日本弓道連盟より『中学校弓道の普及振興事業』の一環で下伊那郡喬木村立喬木中学校に弓具が寄贈されました。

昭和六十二年、校舎の隣に村営弓道場が整備されたのをきっかけに、喬木中学校では平成元年より三年生を対象にした選択体育として弓道が盛り込まれ、喬木村体協弓道部員が基礎だけではなく礼儀作法も含めた指導を行い、平成二十四年からは武道必修化で弓道を希望する生徒が多く、現在も飯伊弓友会より講師派遣、弓具貸出の協力で三十年



余り続けられている経緯があります。しかし、弓・矢・鏢など生徒の体格や弓力に見合った弓具が行き渡らず必要弓具の調達に苦慮している旨を小松哲飯伊支部長が外蘭公毅県弓

道連盟会長に相談、県弓連の協力を得て全弓連より、弓10張・矢50本・鏢20個・中学生向けの読本など必要弓具一式を寄贈される運びとなりました。



寄贈当日、中野秀也全弓連会長、外蘭県弓連会長、小松飯伊支部長、他数名、喬木中学校からは市瀬直史村長、丸山貢弘教育長、林田諭教育事務局長、川手浩司中学校長、原田邦彦教頭、教職員、そして喬木中学全校生徒が体育館に集まり『弓具寄贈式』が行われました。ステージ上で生徒代表四名に中野全弓連会長、外蘭県弓連会長より弓・矢・鏢・ゴム弓などが手渡された後、中野会長の挨拶で「中学校に弓道を繁榮させたい。全国大会で活躍する選手が、この喬木村から生まれることを期待している」と述べられました。生徒を代表して生徒会長の熊

倉琉聖君から「弓道を体験できる環境にあることを誇りに思います。頂いた道具は大切にこれから使わせていただきます」と感謝の気持ち述べました。又、市瀬村長より寄贈に対して全弓連に感謝状とお礼の品が送られました。寄贈式終了後、予定には無かったのですが急遽、記念写真を撮ることに参加者全員で記念撮影をしました。

校長室に弓道学校関係者が戻り、そこで早速、中野会長がお礼の品の箱を開けられました。それは喬木村特産の「阿島傘」で、大変喜んでいらっしゃいました。学校を出たその足で道場を見学され、安土の前で弓道関係者全員の記念撮影をしました。

弓具を寄贈されたのは長野県では初めての事ですが、今まで全国十八校に寄贈したけれど、今回のように式典になったのは十九校目にして初めての事でした。

今年度、喬木中学校の選択体育は十二月に行い、そこで寄贈された弓具一式を使わせていただくとの事です。



明けましておめでとうございます

野辺山洗心弓道場

近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
12人立2ヶ所
遠的道場 1ヶ所

弓道合宿予約随時受付中!

帝産ロツヂ

〒384-1305

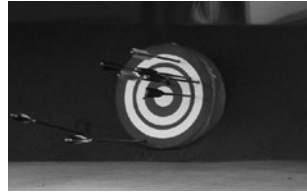
長野県南佐久郡南牧村野辺山 1003

HP : <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは0267-98-2861

平成30年度 祝射会

平成30年11月18日
於：塩尻市弓道場



祝射会招待者

《敬称略》

■平成29年度長野県スポーツ振興
功績者表彰

・有功章 百瀬 正(松本)
・栄光章 小田切祐典(小諸)

■平成30年度優秀支部表彰

・勲功章 永藤 聡(須高)
飯伊支部 小松 哲

■入賞者

○第73回国民体育大会
(福井しあわせ元気国体)

・成年男子遠的の部 1位
清水 北登(須高)

・成年女子遠的の部 1位
小田切祐典(佐久)

・少年男子遠的の部 1位
蟹澤 史弥(上伊那)

・少年女子遠的の部 1位
馬場 絢音(上伊那)

・少年男子遠的の部 2位
藤澤 敏恵(長野)

・少年女子遠的の部 2位
蟹澤 契太(駒ヶ根工)

・少年女子遠的の部 3位
籠田 真輝(塩尻志学館)

・少年女子遠的の部 3位
松木 航也(長野南)

・少年女子遠的の部 3位
北嶋 聡(須高)

・少年女子遠的の部 3位
伊藤 晋(上伊那)

・少年女子遠的の部 3位
伊藤 公二(塩尻)

・少年女子遠的の部 3位
伊藤 公二(塩尻)

・少年女子遠的の部 3位
伊藤 公二(塩尻)

・少年女子遠的の部 3位
伊藤 公二(塩尻)

・少年女子遠的の部 3位
伊藤 公二(塩尻)

・少年女子遠的の部 3位
伊藤 公二(塩尻)

私と弓道

木曾支部 四段 科野 信彦

弓道と出会う機会を与えてくれたのは末娘でした。高校へ進学、弓道のデモ、道着姿を見て、「かっこいい」と思い、即入部し、毎日の様に部活の話聞かされました。秋の大会の応援に妻と行きました。そこで弓道を始めるさらなるきっかけがありました。その大会に参加していたのは義仲道場部長であった、いとこでした。いとこからの誘いもあり、妻の一言「やってみる？」を機に弓道を始める事になりました。早々といとこに連絡をし、道場へ見学。とてもアットホームな道場で、部員の皆さんに基本から教えていただき、弓道の難しさ奥深さを知る事になりました。

家では娘が先生。今日は「胴造り三分」明日は「弓構え三分」と基本をみっちり教わる毎日でした。弓道のおかげで娘との会話も増え、家の中がとても明るくなりました。もうどうぶりはまつてしまい、休日が待ちどおしくたまりませんでした。娘のおかげで出会えた弓道ですが、当時五十四歳、もつと若い時に…と思う気持ちもありま

したが、今は「五十の手習い」として始めた事に素直に感謝感激しています。

話は少し戻りますが、弓道を始めた一つの理由として、見学に行った時八十代の方が元気に弓を射っていました。とても凛々しくかっこよく「すごい」と感じました。その方は九十一歳まで現役で活躍され、自分もそうありたい、やってみたいと強く思ったのを覚えています。夫婦で始めた弓道、周りの皆さんからたくさんご指導をいただきながら、これからも修練し、人生も弓道も楽しみながら続けていきたいと思えます。これからもたくさん素敵な方々とお会いする事でしよう。どうぞ気軽に声を掛けていただき、弓道仲間の輪を大きくしていきたいと思っています。



弓仲間紹介

上小支部 四段 渡邊 園美

高校生のときに、弓を引いていま... 渡邊 園美



「審査があるよ」とか「例会があるよ」と、お声をかけていただいたお蔭で...

り、弓道の面においても生活面においても楽しくなり、また、多方面でも...

最近では、毎年三月名古屋での審査会と大会に二泊三日で出掛けて行き、...

さらに、審査・大会への前向きな姿勢で自分への自信がついたり、他にも...

これからも先生方、諸先輩、弓仲間にご指導をいただきながら、五段昇段を目指し...

また、再開した当初の気持ちも忘れずに新しく加入した方へ積極的に話しかけ、馴染んでいただいで、楽しく弓を続けていただけるように心配りもしていこうと思います。

大会結果

第96回諏訪大社御射山奉射会 第68回近県弓道下諏訪大会

平成30年8月26日(日)

諏訪町宮弓道場・陸上競技場仮設遠的場 参加人数・高校100名、一般51名、合計151名

奉射(遠的4射)

- 1位 藤森千友貴(諏訪遠的協会A) 3中
2位 岩村 拓生(飯駒) 3中
3位 岩原 祐貴(諏訪遠的協会A) 3中
4位 久保田智恵(伊北) 3中
5位 川村 綾美(諏訪遠的協会A) 3中

近県大会

個人(奉射近的4射+近的4射)

- 1位 久保田智恵(伊北) 7中
2位 市川 隆光(諏訪遠的協会B) 6中
3位 藤森千友貴(諏訪遠的協会A) 6中
4位 川村 綾美(諏訪遠的協会A) 6中
5位 岩原 祐貴(諏訪遠的協会A) 6中
団体の部(24射)
1位 諏訪遠的協会A(岩原祐貴、川村 綾美、藤森千友貴) 18中
2位 伊北(酒井紳一、久保田智恵、柴種徳) 13中
3位 混合(堀口修、相原健、内山善照) 11中

第64回大町市制記念県下弓道大会

平成30年8月26日(日) 大町市運動公園弓道場 参加人数・高校90名、一般54名、合計144名

近的

- 1位 村松 和彦 7中
2位 谷 敏子 7中
3位 牛越 和枝 7中
4位 松井 幸彦 7中
5位 渡辺 敏夫 7中

個人(部)

遠的

- 1位 宮原 勝弘 7中
2位 黒瀬 俊介 5中
3位 渡村 久志 5中
4位 渡辺 晃 4中
5位 猪原 誠二 4中
団体の部(24射)
▲高校
1位 縣陵A(松瀬勇紀、旗町希羽、宮澤 一真) 12中
2位 明科女子(水口小雪、窪田亜矢加、 秋野愛弥) 12中
3位 縣陵C(赤羽碧、矢ヶ崎亮太、倉科 衣千花) 12中
▲一般
1位 安曇(丸山真弓、牛越和枝、高橋慎平) 14中
2位 穂高(渡辺晃、相馬孝寿、松井幸彦) 13中
3位 上田城(手塚信幸、武舎和美、村松 和彦) 13中

第58回弓道須坂大会(一般の部)

平成30年8月26日(日) 須坂市弓道場 参加人数・48名

個人(部)

- 1位 尚弓会B(松倉志、伊澤貴幸、飯田 秀樹) 10中
2位 混成佐久(塚田滉巳、金原正、新津 一夫) 8中
3位 でんでんMkII(寺田侑矢、春原徹、 苦米地優介) 8中
▲近的(16射)
1位 松倉 志(尚弓会B) 14中
2位 塚田 滉巳(混成佐久) 12中
3位 金原 正(混成佐久) 12中
4位 新津 一夫(混成佐久) 11中
5位 笠井 信夫(がりゅう) 11中
▲遠的(射詰)
1位 高地美佐子(びよこ)
2位 伊澤 貴幸(尚弓会B)

第60回塩尻市武道大会

○平成30年9月9日(日) 塩尻市弓道場
参加人数: 中学8名、高校196名、一般40名、
合計244名

個人の部(10射)

- 1位 林 貴徳(義仲) 9中
- 2位 古畑 樹(ARI3) 9中
- 3位 秋山 琉星(穂高商業C) 9中
- 4位 宮澤 歩夢(蟻ヶ崎D) 8中
- 5位 田中龍之介(穂高商業D) 8中

団体の部(12射)

- ▲中学
 - 1位 安曇野JSC A(津田匠、小原晴太) 2中
 - 2位 安曇野JSC C(熊崎ゆい、増田 采音、井藤圭都) 2中
 - 3位 安曇野JSC B(瀬戸美羽、辻真白、久保田愛美) 1中
- ▲高校
 - 1位 穂高商業D(田中龍之介、關和佳奈、宮田悠悟) 8中
 - 2位 志学館女子B(吉川沙夕、加藤遼夏、川上優奈) 8中
 - 3位 田川C(今井優貴、上條優太、岩垂隼人) 8中

- 3位 滝沢 聡子(びよこ)

女子

- 1位 北島 諒悟(長野) 6中
- 2位 小池 匠(長野吉田) 6中
- ▲女子
 - 1位 加藤 緋梨(市立長野) 6中
 - 2位 小林美菜子(屋代) 6中
 - 3位 諏訪戸日和(北部) 6中
- ▲団体の部(24射)
 - 1位 長野吉田C(土倉隆星、青木颯士、本山琉月) 18中
 - 2位 飯山A(鈴木拓磨、石塚憩弥、小林俊介) 17中
 - 3位 長野西C(関取尚哉、岡本祥之介、渡邊雅也) 14中

男子

- 1位 長野B(山崎真菜、吉原和花南、藤原優) 15中
- 2位 中野西C(羽入田愛華、磯邊瑠菜、小橋真夏) 14中
- 3位 屋代(唐澤由佳、高野雅子、上野多恵) 14中

第68回岡谷大会

○平成30年9月17日(月・祝)
岡谷市総合体育館弓道場
参加人数: 高校167名、一般34名、合計201名

個人の部(8射)

- ▲高校
 - 1位 両角 優美(諏訪二葉) 7中
 - 2位 有賀 圭佑(箕輪進修) 6中
 - 3位 飯森 夕菜(諏訪二葉) 6中
 - 4位 百瀬 奏(岡谷南) 6中
 - 5位 穂高 伊吹(岡谷南) 6中
- ▲一般
 - 1位 岩原 祐貴(岡谷) 7中
 - 2位 高橋 正弘(東御) 6中
 - 3位 志村 仁(岡谷) 6中
 - 4位 生田 憲克(長野) 6中
 - 5位 櫻井 大然(岡谷) 6中

団体の部(24射)

- ▲高校
 - 1位 岡谷南(穂高伊吹、濱想一郎、高木優人) 17中
 - 2位 諏訪二葉A(大野杏輔、野沢拓磨、五味稜馬) 17中
 - 3位 諏訪二葉A(山本真凜、河西明音、溝口真優) 15中
- ▲一般
 - 1位 諏訪(川村綾美、柳澤沙話子、志村仁) 15中
 - 2位 チーム北南信(矢島正男、矢島美穂、生田憲克) 14中
 - 3位 岡谷(岩原祐貴、濱直樹、藤森田裕) 13中

第38回長野市民体育祭弓道大会

○平成30年10月7日(日) 長野運動公園弓道場
参加人数: 中学26名、高校230名、一般32名、
合計288名

個人の部(8射)

- ▲中学
 - 1位 鈴木康士郎(長野日大) 5中
 - 2位 市川 颯汰(長野日大) 4中
 - 3位 石井 丈巳(長野日大) 4中
 - 4位 矢花さや香(長野日大) 4中
 - 5位 石田 湧信(長野日大) 3中
- ▲高校男子
 - 1位 島田 将門(長野日大A) 6中
 - 2位 安井 雅治(長野高専A) 6中
 - 3位 田口 維吹(長野日大B) 5中
 - 4位 小林 蒼空(市立長野) 5中
 - 5位 神田 翔仁(長野A) 5中

団体の部(24射)

- ▲高校男子
 - 1位 長野高専A(間藤惠志、若林大聖、安井雅治) 15中
 - 2位 長野日大A(萱津亮太、小林司、島田将門) 12中
 - 3位 文化学園長野D(北村岳、田陽晟、古川翔太) 12中
- ▲高校女子
 - 1位 長野B(加藤万貴、豊田真唯、藤原優) 15中
 - 2位 市立長野C(油科夏葉、寺島玲雅、長田佐和) 14中
 - 3位 長野日大C(小林由季、堀川紗椰、中嶋響希) 12中

第44回佐久市民弓道大会

○平成30年10月8日(月・祝) 駒場公園弓道場
参加人数: 高校121名、一般29名、合計150名

個人の部(8射)

- ▲高校
 - 1位 菊池清治郎(野沢北) 7中
 - 2位 三井 優弥(小諸) 7中
 - 3位 八巻 唯衣(小諸) 7中
 - 4位 土屋 美音(野沢北) 7中
 - 5位 中村 翔瑠(小諸) 6中
- ▲一般
 - 1位 平塚 祐介(佐久) 7中
 - 2位 小田切祐典(小諸) 7中
 - 3位 清水 北登(佐久) 7中
 - 4位 金原 正佐久 6中
 - 5位 篠澤 英次(佐久) 5中

無相大師奉賛弓道大会(高校の部)

○平成30年9月9日(日) 中野市弓道場
参加人数: 高校424名

個人の部(8射)

- ▲男子
 - 1位 本山 琉月(長野吉田) 8中

第61回松本市民体育大会秋季弓道大会

平成30年10月8日(月・祝) 松本市弓道場
参加人数・高校17名、一般68名、合計239名

- 個人(8射)
▲高校
1位 岩垂 真慶(松商男子A)
2位 牧内 楓歌(縣陵女子G)
3位 百瀬 友翔(松商男子B)
4位 奥原奈々香(蟻ヶ崎A)
5位 宮澤 歩夢(蟻ヶ崎B)
▲一般
1位 長谷川匡紀(信州大学A)
2位 中條 友裕(チーム四五段)
3位 伊藤 喬晃(信州大学B)
4位 水上 和(信州大学オーブ)
5位 味谷 祐幸(信州大学D)
▲団体(部)(24射)
▲高校
1位 松商男子A(岩垂真慶、海野慧水、上條直哉)
2位 縣陵女子G(太田望友、高田夏寧、牧内楓歌)
3位 松商男子B(小澤草太、清水翔太、百瀬友翔)
▲一般
1位 信州大学A(長谷川匡紀、赤沼春菜、齋藤利仁)
2位 信州大学D(山之上汰一、鍾其延、味谷祐幸)
3位 信州大学B(館颯太、伊藤喬晃、鹿島淳矢)

第67回上田市総合体育大会弓道競技

平成30年10月8日(月・祝) 上田城跡公園弓道場
参加人数・高校116名、一般18名、合計134名

- 個人(8射)
▲高校男子
1位 丸山 武琉(上田)
2位 関 大吾(上田東)
3位 小林 哲也(上田染谷丘)
▲一般
1位 小幡 かや(上田東)
2位 北島 若葉(上田)
3位 小林 鈴佳(上田染谷丘)
▲一般男子
1位 手塚 信幸(上田市)
2位 関口 和好(上田市)
3位 岩垂 優一(上田市)
▲一般女子
1位 宮島 苑子(上田市)
2位 渡辺 園美(上田市)
3位 甲田 令子(上田市)

2018 信州ねりんピックスポーツ交流大会

平成30年10月20日(土) 東御中央公園弓道場

- ▲高校女子
1位 小幡 かや(上田東)
2位 北島 若葉(上田)
3位 小林 鈴佳(上田染谷丘)
▲一般男子
1位 手塚 信幸(上田市)
2位 関口 和好(上田市)
3位 岩垂 優一(上田市)
▲一般女子
1位 宮島 苑子(上田市)
2位 渡辺 園美(上田市)
3位 甲田 令子(上田市)
▲最高年齢者賞
1位 林 英彦(中高)
2位 荒木 義博(長野)
3位 持田 武二(佐久)
▲男子
今井 勉(上伊那)
▲女子
徳武 久子(中高)
ねりんピックわかやま2019 派遣選手・交代選手



第55回県下池田弓道大会

平成30年10月21日(日) 池田町弓道場
参加人数・高校57名、一般60名、合計117名

- 個人(8射)
▲高校
1位 中屋 遥(深志A)
2位 東條 浩志(豊科A)
3位 星野 来夢(穂高商業A)
4位 竹内 晴南(穂高商業A)
5位 手塚 結芽(深志A)
▲一般
1位 山崎 充夫(塩尻)
2位 吉江 美佳(松本嬢)
3位 大原 薫(上越)
4位 林 貴徳(木曾義仲)
5位 木下 拓馬(工業+1)
▲団体(部)(24射)
▲高校
1位 深志A(植木日菜、手塚結芽、中屋遥)
2位 穂高商業A(熊澤真紀、竹内晴南、星野来夢)
3位 豊科A(竹村智成、城取直樹、東條浩志)
▲一般
1位 木曾義仲(林貴徳、野田陽子、正澤好成)
2位 上越(歌代重則、滝川和子、大原薫)
3位 塩尻(榛葉良美、伊藤公二、山崎充夫)

第16回千曲市長杯弓道大会(一般の部)

平成30年10月21日(日) 千曲市弓道場
参加人数・一般31名

- 個人(8射)
1位 久保田 透(千曲)
2位 笠井 信夫(善光寺)
3位 大井 峯幸(佐久)

第74回県下南信弓道大会

平成30年10月28日(日) 県営飯田弓道場
参加人数・合計206名

- 個人(部)
▲高校一年生
1位 北城 和真(風越)
2位 湯澤 慎(OIED)
3位 有川 芽依(風越)
4位 原 愛華(飯田)
5位 田中 簾(阿智)
▲高校二・三年生
1位 蟹澤 契太(駒工)
2位 三輪真由奈(岡谷南)
3位 大澤健太郎(下濃)
4位 百瀬 奏(岡谷南)
5位 土屋 紳(飯田)
▲一般参段以下
1位 依田 尚大(大学生)
2位 熊谷 駿佑(大学生)
3位 小口 琉矢(大学生)
4位 新井 未音(風越OB)
5位 本島 正美(喬木)
▲一般四段以上
1位 蟹澤 史弥(無射四)
2位 平澤 敏弘(矢真飛)
3位 岩村 拓生(無射四)
4位 坪井 優(矢真飛)
5位 常盤 浩(上郷)

個人(部)

大学生(熊谷駿佑、依田尚大、小口琉矢)
2位 矢真飛(中村健二、坪井優、平澤敏弘)
3位 無射四(蟹澤史弥、馬場絢音、岩村拓生)

第30回 国宝松本城奉射弓道大会

○平成30年11月3日(土・祝) 松本市弓道場
参加人数・高校142名、一般130名、合計272名

個人(8射)

▲高校男子

- 1位 山本 泰知(大町岳陽A) 6中
- 2位 信末 悠稀(塩尻志学館A) 6中
- 3位 田中 翔太(池田工業) 5中
- 4位 田中 朋之(木曾青峰A) 5中
- 5位 中沢 勇真(岡谷南B) 5中

▲高校女子

- 1位 百瀬 奏(岡谷南A) 7中
- 2位 中村 真由(蟻ヶ崎A) 6中
- 3位 岩淵 遥(穂高商業C) 6中
- 4位 井出 妃咲(木曾青峰A) 5中
- 5位 御子柴 茉優(岡谷南C) 5中

▲一般

- 1位 佐藤 拓真(KMR48) 8中
- 2位 清水 北登(KMR48) 8中
- 3位 奈良航太郎(信州大学C) 8中
- 4位 宮島 苑子(上田城) 7中
- 5位 藤澤 敏恵(丸10) 7中

第16回 千曲市長杯弓道大会(高校の部)

○平成30年11月3日(土・祝) 千曲市弓道場
参加人数・高校264名

▲男子

- 1位 長野西C(外谷悠人、宮澤隼人、岡本祥之介) 16中
- 2位 穂高商業(金子蒼太、前川大樹、林寛人) 15中
- 3位 長野高専A(間藤恵志、若林大聖、安井雅治) 15中

▲女子

- 1位 長野日大D(小林由季、堀川紗椰、中嶋響希) 20中
- 2位 屋代C(山口瑛那、高野雅子、上野多恵) 14中
- 3位 須坂A(山田千佳、須山夏帆、小林由愛) 13中

第53回 県下弓道飯島大会

○平成30年11月3日(土・祝) 飯島町弓道場
参加人数・高校47名、一般47名

個人(8射)

▲高校

- 1位 蟹澤 契太(駒工C) 8中
- 2位 柳澤 未夢(岡谷南C) 6中
- 3位 佐藤 哲也(岡谷南A) 6中
- 4位 芦部佳寿斗(駒工B) 6中
- 5位 大場 空乃(赤穂A) 6中

▲一般

- 1位 岩村 拓生(松川町A) 6中
- 2位 井原 寿恵(塩尻) 6中
- 3位 北田 瑛二(塩尻) 5中
- 4位 井出 克彦(伊北) 5中
- 5位 島本 昌晃(駒ヶ根A) 5中

▲団体の部(上位8チームによるトーナメント戦)

- 1位 諏訪遠的協会(岩原祐貴、川村綾美、市川隆光)
- 2位 駒工C(蟹澤契太、松田涼平、白鳥衛)
- 3位 塩尻(井原寿恵、伊藤公二、北田瑛二)

第3回 小諸市民弓道交流大会

○平成30年11月4日(日) 小諸武道館弓道場
参加人数・中学3名、高校25名、一般25名、合計53名

▲個人(8射)

- 1位 藤田慶一郎(岩村田) 6中
- 2位 佐藤 佳実(小諸商業) 5中
- 3位 小林 路実(小諸商業) 4中

▲一般

- 1位 小田切祐典(小諸) 7中
- 2位 清水 北登(佐久) 6中
- 3位 藤沢 英輝(丸子) 5中

第48回 北信越弓道選手権大会

○平成30年11月11日(日) 新潟県上越市高田公園弓道場

個人(8射)

▲女子有段者

- 1位 藤澤 敏恵(長野県)

▲称号受有者

- 2位 志村 仁(長野県)
- 3位 清水 北登(長野県)

▲団体の部

- 1位 長野県 11点

▲男子有段者

- 4位 長野県 29中2点

▲女子有段者

- 1位 長野県 29中6点

▲称号受有者

- 3位 長野県 22中3点

▲総合成績

- 優勝 長野県



昇段昇格者

◆「北信越地区」臨時中央審査会

▽六段の部平成30年9月9日

内山 幸三(上小支部)

◆「東京」定期中央審査会

▽六段の部平成30年11月4日

原田 正浩(中高支部)

▽教士の部平成30年11月5日

小越 剛(松本支部)

志村 仁(諏訪支部)

ゆづりや

新年 おめでとうございます！

二年ほど前から地域の活動を通してボランティアで歌を歌ったりするようになり、その延長で一年ほど前から楽器もやるようになってしまった。

歌うことは：まあまあ、でも楽器は：子どもの頃やった切りではあっても、ここまで酷いとは：！ 譜読みもままならず、頭で分かっているのに追いつかない。「ソ」と思っているのに違う音が出ていて、本人が一番驚いている始末。でも、他人の前で演奏したりしなければならず：つらい日々だった。

一年経って気が付くと、譜読みに手が追いついてきて、前ほど辛くない自分に気づきビックリ！！

では、弓は？！：頭で理解していることにはいつまでたっても体が追いついてこない！

そもそも、きちんと理解できているのが怪しいゾ！ 動画など見せられた日にはあまりのことに愕然としてしまう。

いつか体が追いつく日が来るのかしら？？ その「いつの日か」を信じ、：いえ、夢見て(´・`・´)今年も励もうと思う今日この頃で：

皆様、本年もどうぞ宜しくお願い致します。

松本支部 中田 美千